

ビジネスルール研究WG

2016年度ワーキンググループ活動趣意書

推進者氏名： 清水千博

■背景となる問題

- 2012年度の活動では、プロセスの階層レベルとルールレベルを対応させるという仮説を、限定的であるが実証することができた。
- 2013年度は、実例として企業連携におけるルール作成の一部を手掛けることができた。
- 2014年度は、Uberなど新規参入のルール破壊によるビジネスモデルを研究し始めた。
- 2015年度は、ビジネスモデルの調査を拡大してきたが、OMGのDMN(意思決定モデリング)が標準化されたので、その内容の研究調査を兼ねて、日本語化作業を日本OMGから許可をもらい開始した(書籍の内容を充実させるためにも不可欠と判断)。

■活動目的: 2012年～2015年度の成果を具体的に使用してもらうために、引き続き活動する。

- OMG標準のDMN1.0の翻訳を完成させる
- 過去4年間の実績を書籍にまとめる

■成果物定義

- ビジネスルールとプロセス、ビジネスモデル、意思決定モデルに関する書籍を出版し、IOT社会の実現に貢献する

- 毎月1回の作業会合を開催し、下記の作業を実施する。
 - 毎回の会合時間は基本的に18:30-20:30とする。
 - 毎回の会合の後に懇親会を実施し、人的ネットワークの強化を図る。
 - 幹事は持ち回り制とし、会合場所の確保、会合案内、出欠確認を担当する。
-
- WGテーマ
 1. DMN1.0の翻訳を完成させる
 2. ビジネスルール、プロセス、ビジネスモデル、意思決定に関する書籍の出版

	2012年								2013年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
メンバー募集		■											
DMN1.0翻訳(継続)	■	■	■	■	■	■	■	■					
DMN以外の意思決定モデル(アシュアランケース)の調査・研究	■	■	■	■	■	■	■	■					
書籍の構成、担当を決める		■	■	■	■	■	■	■					
執筆活動					■	■	■	■	■	■	■	■	■
発表準備											■	■	■

■メンバー要件

- VCPCメンバー
- ISMJ会員
- IIBA日本支部会員
- 日本BPM協会会員
- 上記団体に属さない有識者は要相談